

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんく壺屋教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安定した支援の質と高い満足度	保護者評価は全体的に高く、子ども理解・個別支援・環境面すべてにおいて安定した支援が提供されている。	支援計画・プログラムの体系化 現在の実践を整理し、支援プログラムや計画として明確にし、職員全体で共有していく。
2	丁寧なコミュニケーション	送迎時のやり取りや面談等を通じて、保護者との信頼関係が構築されている。	活動の計画性向上 行き当たりの活動にならないよう、事前計画・準備・振り返りの流れを強化する。
3	職員間の連携意識	日々のミーティングやチャットを通して、児童についての共有や相談が行われている。	家族支援の充実 保護者向けの支援や情報提供、学びの機会をより充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援計画の作成・運用の弱さ アセスメントや個別支援計画の作成・共有・実践に課題が見られる	支援の実践はできているが「言語化・仕組み化」が不十分	支援計画の整備・運用強化 アセスメント→計画→実施→評価の流れを明確にし、職員全体で共有する。
2	活動の計画性不足 活動が場当たり的になりやすく、継続的な支援の流れが弱い。	計画・振り返りの時間や文化が十分に確立されていない	活動の事前計画と振り返りの実施 行事・日々の活動について計画と振り返りの機会を設け、支援の質向上につなげる。
3	安全・環境面の整備不足 設備の修繕や安全管理、マニュアル理解の面で改善の余地がある。	安全管理や支援の基準が個人依存になっている	安全・環境整備の強化 設備の修繕、マニュアル共有、研修実施を通して安全管理体制を強化する。